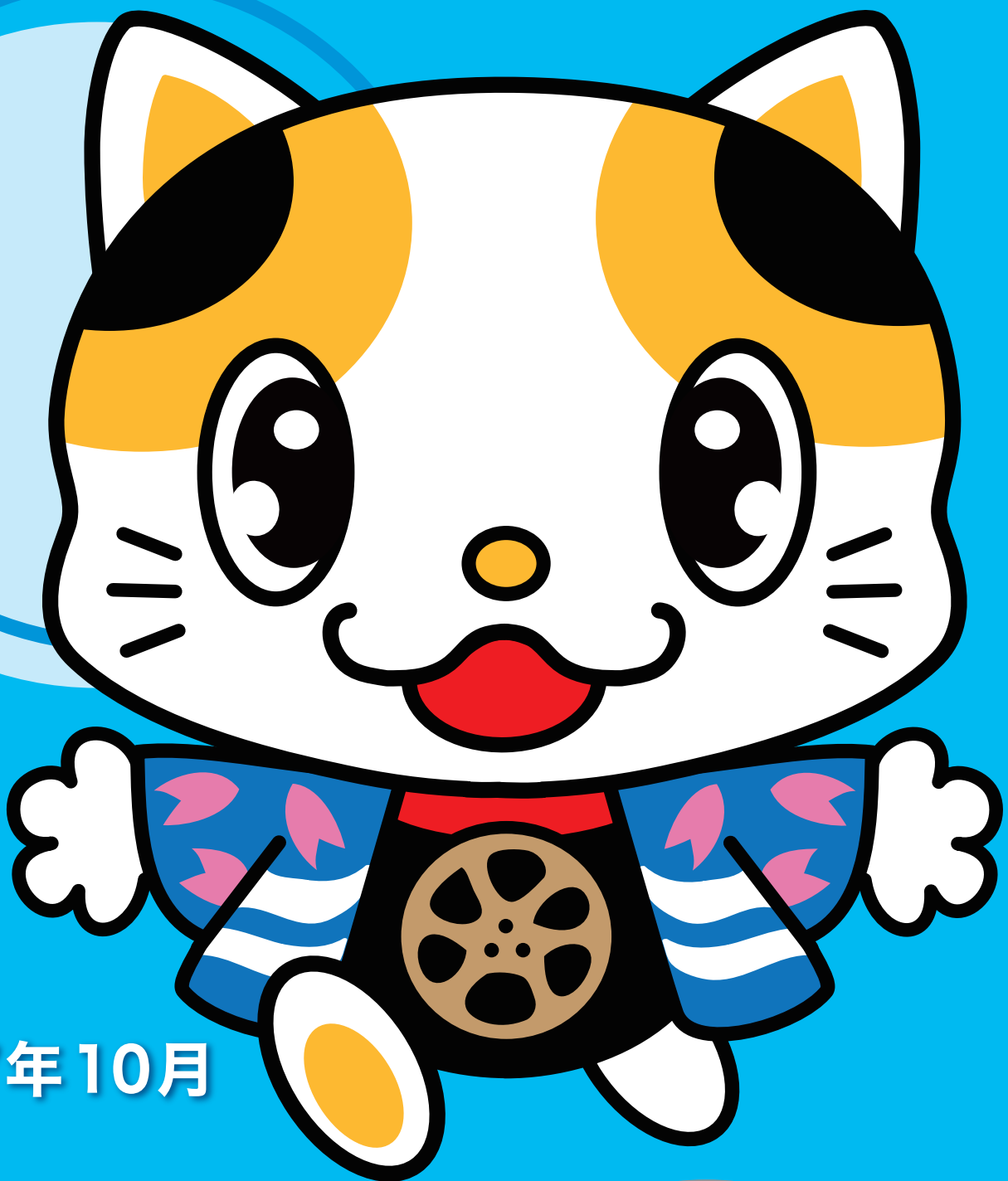


門 真 市
人 口 ビ ジ ョ ン
(概要版)



平成 27 年 10 月
門 真 市

1. 門真市人口ビジョンとは

門真市における人口の現状分析を行い、人口問題に関する認識を市民と共有し、今後めざすべき将来の方向と人口の将来展望を示すものです。

門真市人口ビジョンの計画期間は、今後20～30年間程度の人口の将来展望を示すものとして、平成52(2040)年と設定します。

2. 門真市の人口動向の概要

■人口および人口構成の推移（2、3ページ）

- 人口はこの20年間減少が続いています
- 高齢者人口の比率が増大しています

■人口減少の要因（4、5ページ）

- 人口減少の主な要因は「社会減」から「自然減」へ変わってきています

■産業や周辺地域との関連（6、7ページ）

- 人口（夜間人口）は減少していても、昼間人口はほぼ変化がありません
- 周辺地域から通勤／通学する人が増加している可能性があります

3. 門真市人口ビジョンの3つの基本的視点

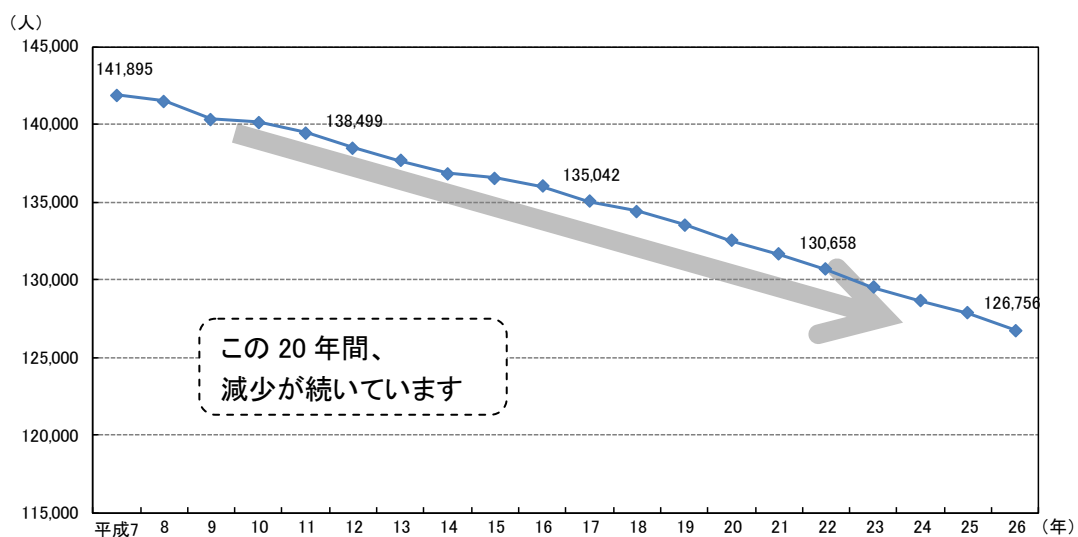
人口分析の結果等を踏まえ、以下を門真市人口ビジョンの基本的視点とします。

- ① 子育て環境を充実し、若い世代が出産・子育ての希望を実現できるまちをめざします。
- ② 市の魅力を高め、若い世代・子育て世帯が移住・定住したいと思えるまちをめざします。
- ③ 人口減少社会に的確に対応し、住んで、みんなが幸せを実感できるまちをめざします。

4. 人口および人口構成の推移

- 人口はこの20年間減少が続いています(図表1)
- 人口構成が変化し、生産年齢人口(15歳～64歳)が減少しています(図表2)
- 高齢者人口の比率が増大しています(図表3)

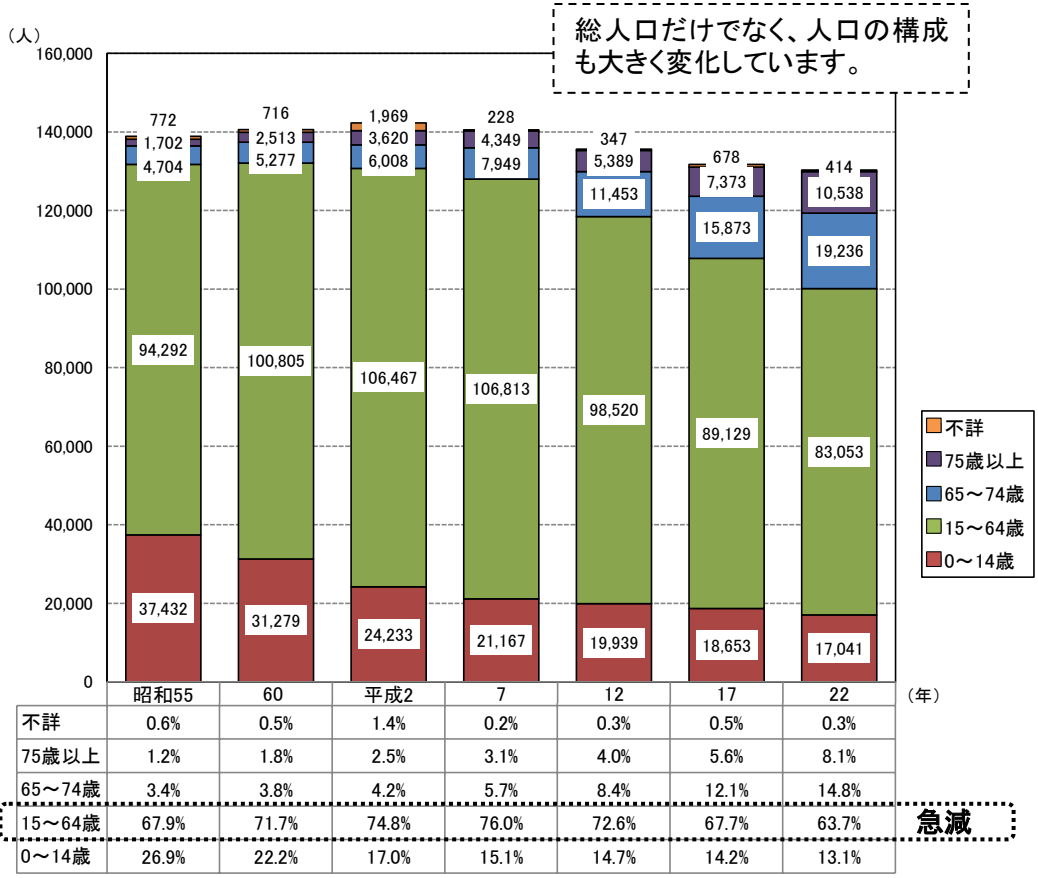
図表1 門真市の総人口推移



(資料)門真市「平成26年度版門真市統計書」

人口は毎年10月1日現在(平成24年度以前は外国人登録者数含む。)

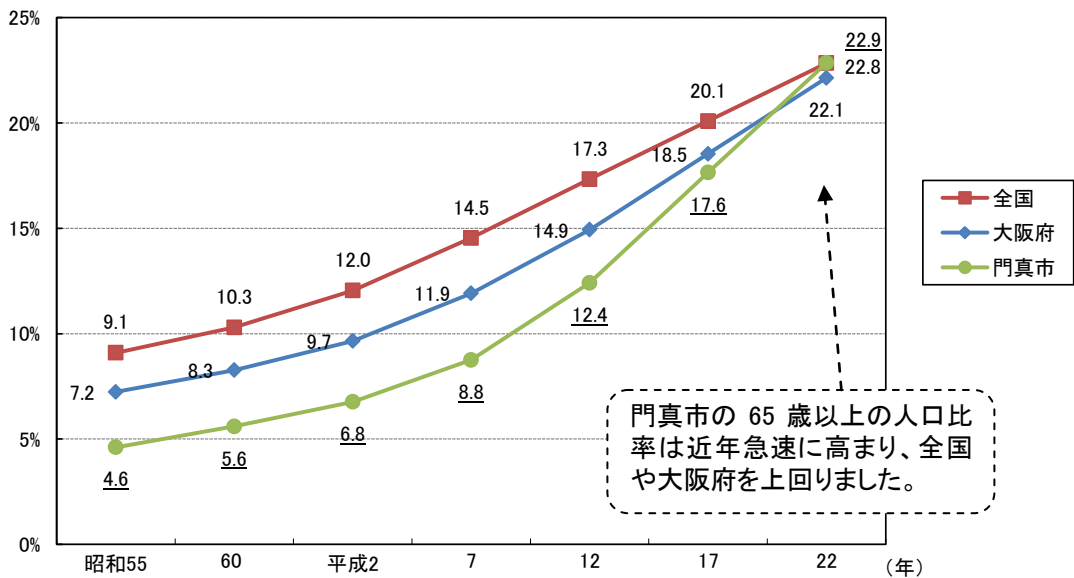
図表2 年齢4区分別人口の推移



(資料)総務省「国勢調査報告」

注)端数処理の都合上、比率の合計が100.0%とまらない系列が存在する。

図表3 65歳以上人口の比率の推移



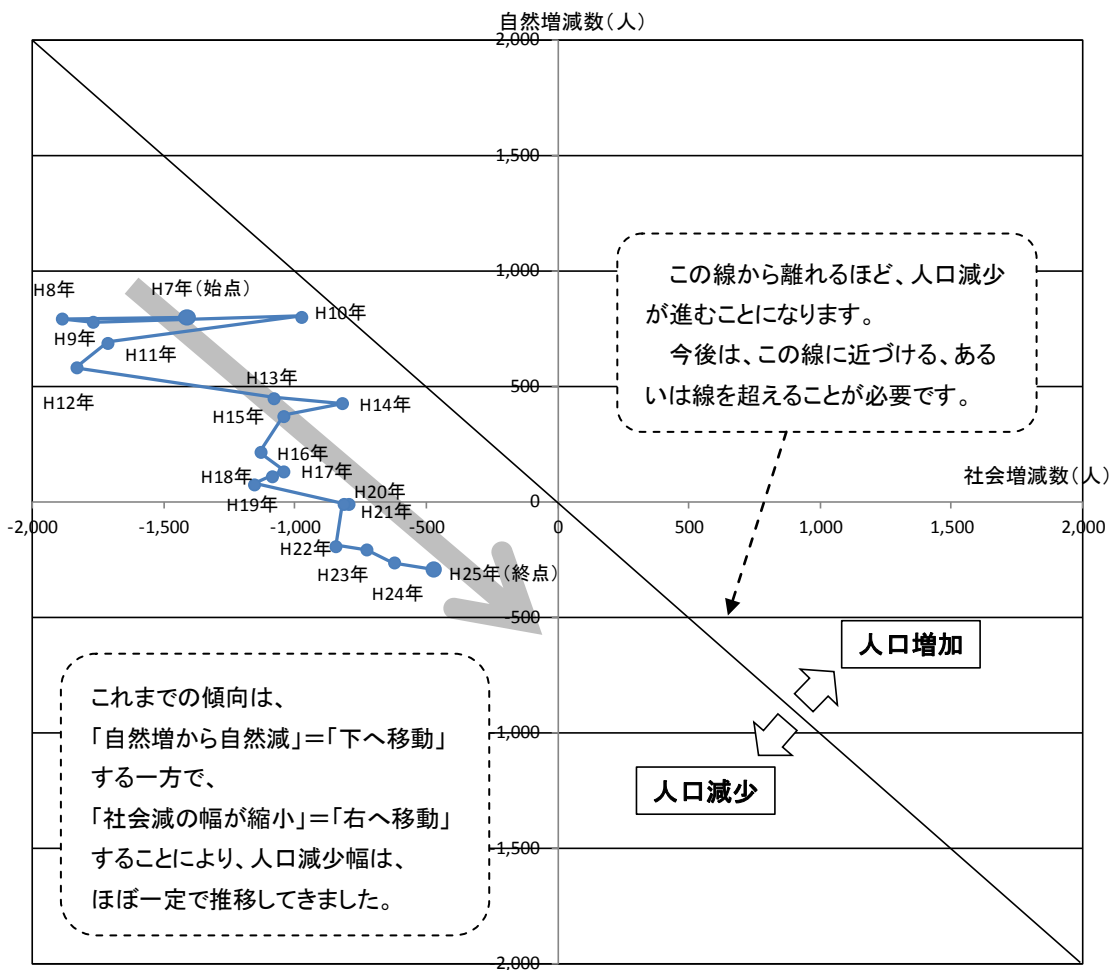
(資料)総務省「国勢調査報告」

5. 人口減少の要因

■人口減少の要因

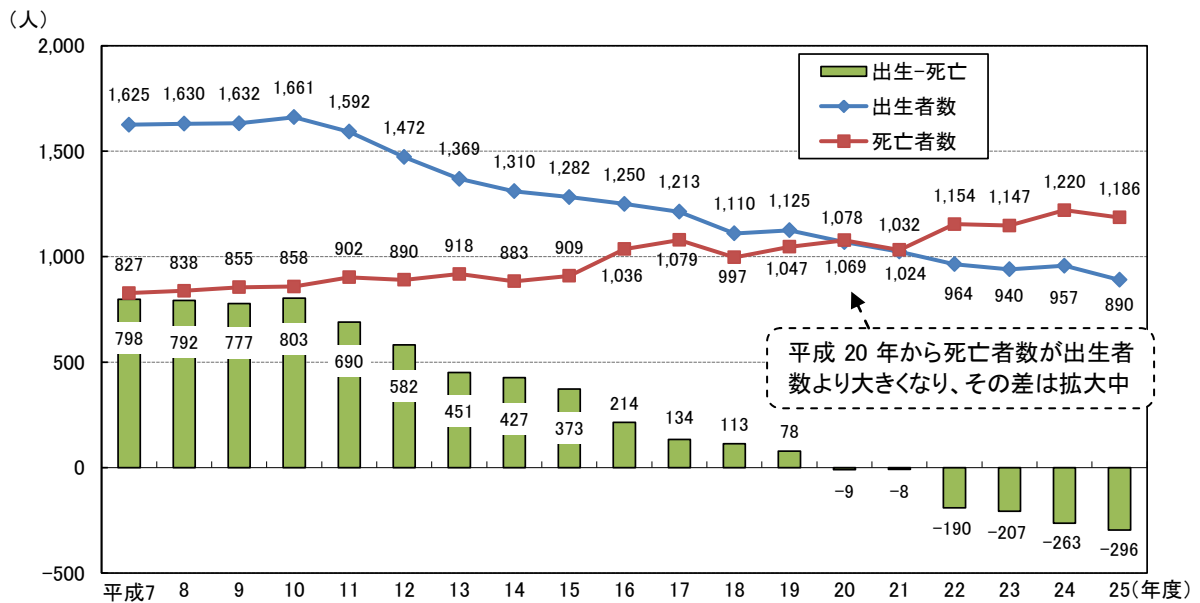
- 人口減少の要因は「社会減」から「自然減」へ変わってきています(図表4)
- 自然減
出生者数よりも死亡者数が多くなっています(図表5)
- 社会減
転入者数より転出者数が多い状況が続いています(図表6)

図表4 門真市の過去20年における人口増減の要因の変化



(資料)総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」より作成

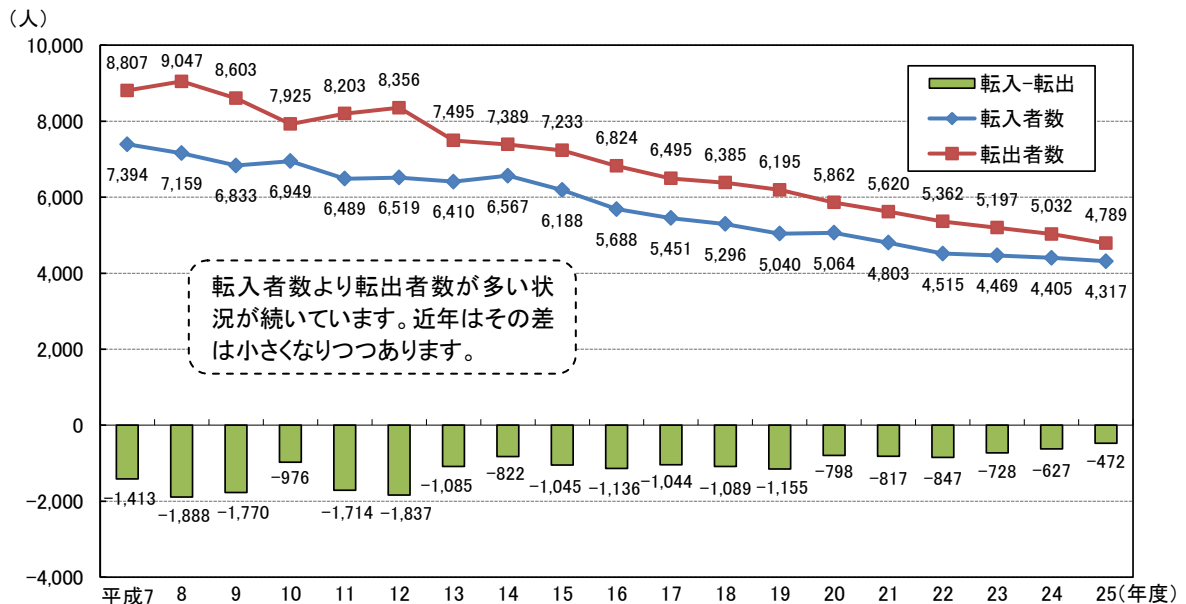
図表5 門真市における出生者数・死亡者数の推移



(資料)総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

※平成24(2012)年、平成25(2013)年は日本人人口の動態

図表6 門真市の転入者数・転出者数の推移

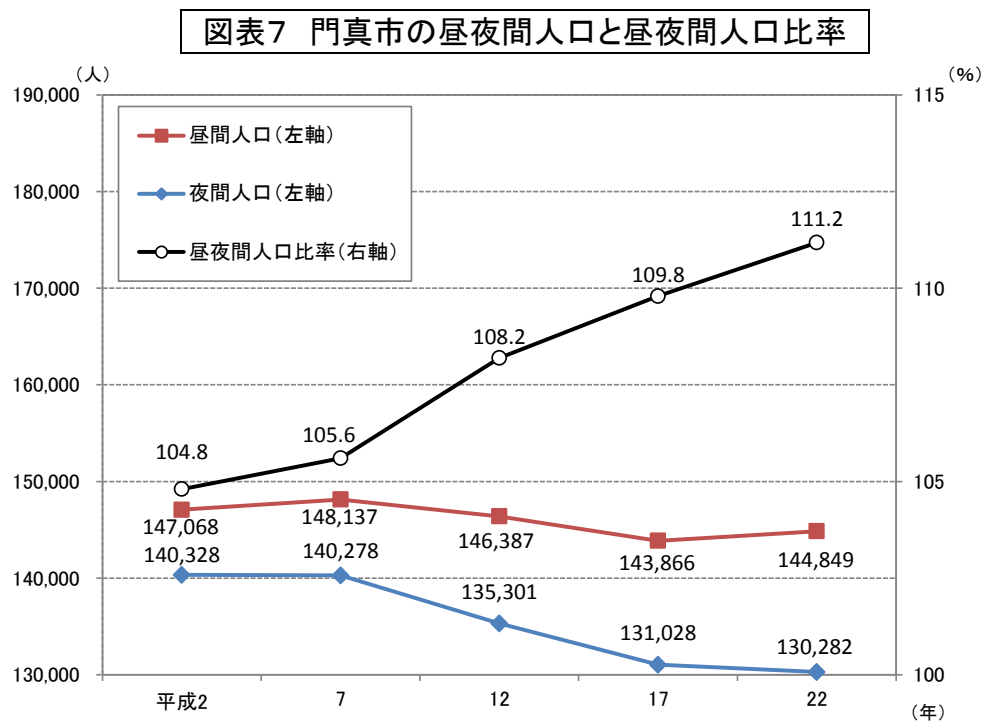


(資料)総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

※平成24(2012)年、平成25(2013)年は日本人人口の動態

6. 産業や周辺地域との関連

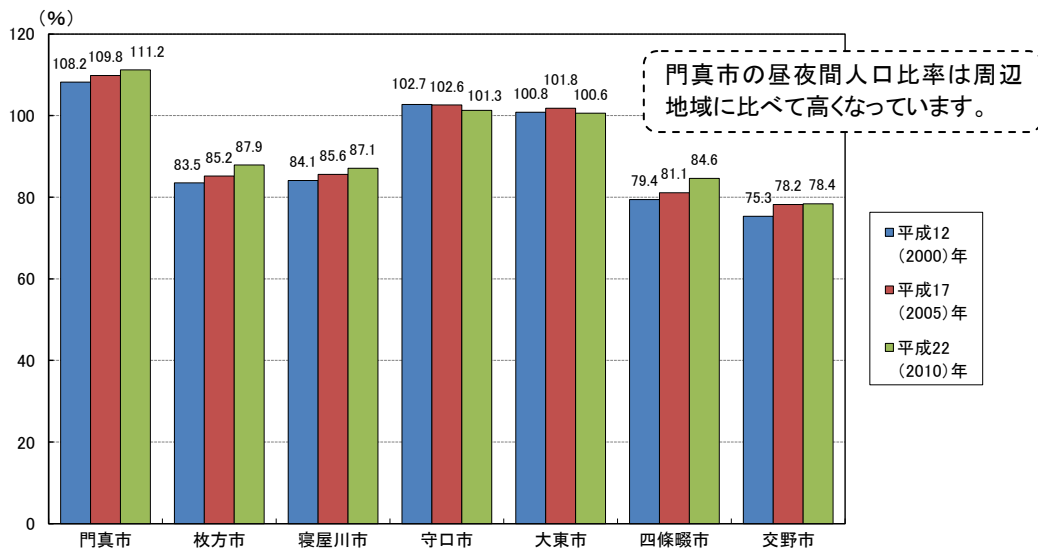
- 人口(夜間人口)は減少していても、昼間人口はほぼ横ばいです(図表7)
→ 周辺地域から通勤/通学する人が増加している可能性があります
- 門真市の昼夜間人口比率(昼間人口/夜間人口)は周辺地域よりも高くなっています(図表8)
- 門真市で就業者数が多い製造業において、市外に居住する方が多い傾向があります(図表9)



(参考)総務省「国勢調査報告」

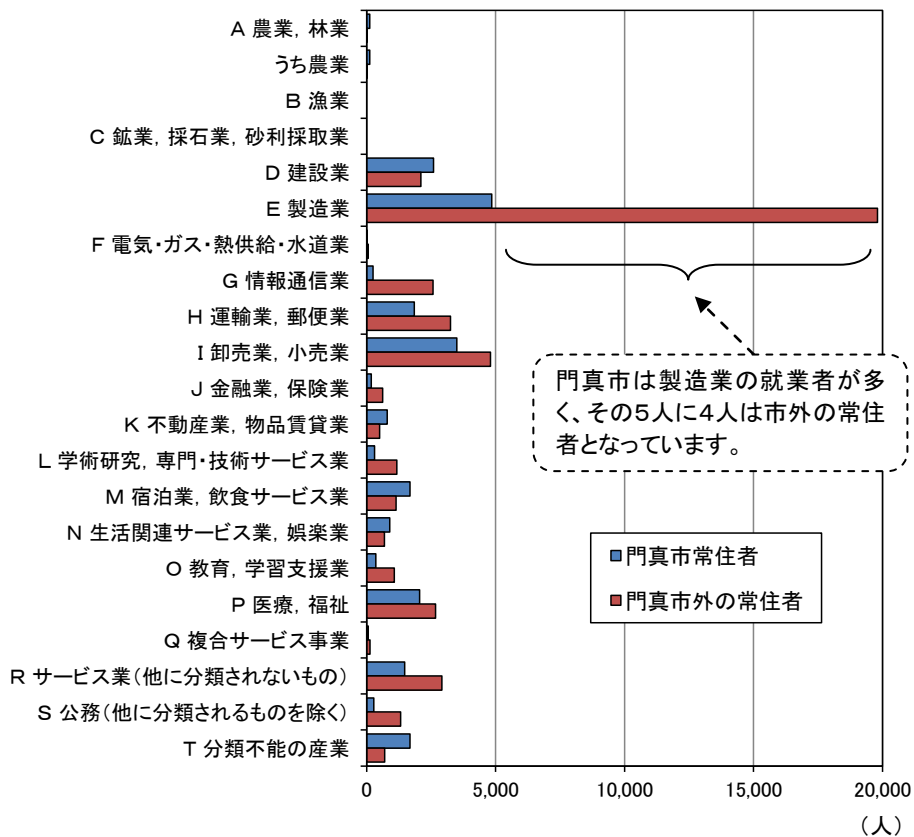
人口及び夜間人口は減少していますが、昼間人口は20年間あまり変化していません。

図表8 北河内各市における昼夜間人口比率



(参考)総務省「国勢調査報告」

図表9 産業別の就業者の居住地

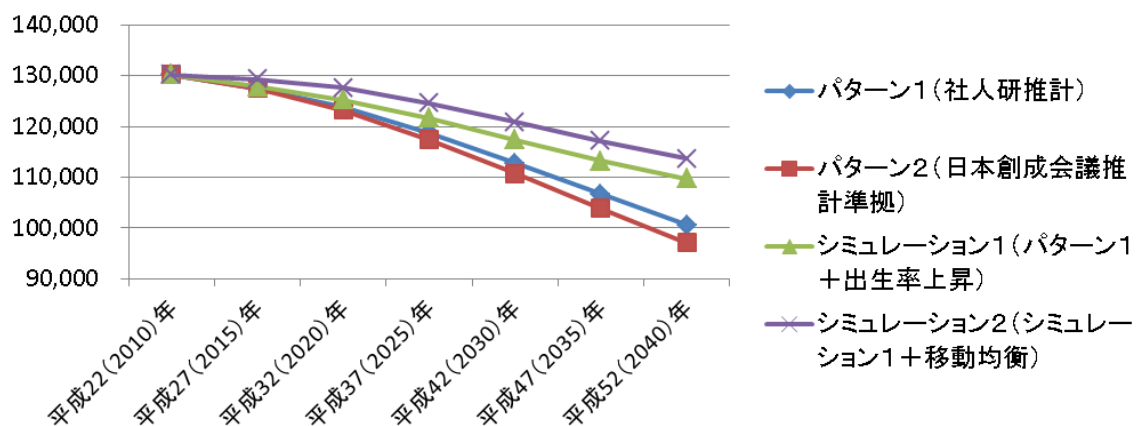


(参考)総務省「国勢調査報告」

7. 人口推計および将来に与える影響

- 現在の状況が続いた場合
平成 22(2010)年 約 130,000 人 → 平成 52(2040)年 約 100,000 人
- 【自然減の緩和】 合計特殊出生率が人口置換水準(2.07)に回復
→ 平成 52(2040)年の人口は約 9,000 人増加します
- 【社会減の緩和】 転出超過が解消され、人口移動が均衡
→ 平成 52(2040)年の人口は約 4,000 人増加します

図表10 人口推計のシミュレーション



(注) 基準となる人口:平成22年(2010年) 130,282人(国勢調査人口)

パターン1、2は現在の状況が続いた場合の推計。仮定の違いにより、若干の差異がみられます。

■人口変化が地域の将来に与える影響

- 65歳以上の人口の割合が上昇し、15歳～64歳までの生産年齢人口の減少し労働人口が減少すると考えられます。
- 地域経済規模の縮小、公共施設の適正配置、社会保障に係る費用の増加、市税収入の減少等により、1人あたりにかかる負担が大きくなります

8. めざすべき将来の方向性

自然減と社会減の両方の側面からのアプローチを行うため、人口減少への対応としての門真市がめざすべき将来の方向性として、3つの基本的視点を定めます。

【門真市人口ビジョンの3つの基本的視点】

①子育て環境を充実し、若い世代が出産・子育ての希望を実現できるまちをめざします。

若い世代が安心して子どもを産み育てるため、安定的な収入の実現とともに、妊娠や出産、子育てに関する切れ目ない支援を行うことにより、出産・子育ての希望を実現できる環境をつくる必要があります。

②市の魅力を高め、若い世代・子育て世帯が移住・定住したいと思えるまちをめざします。

ゆとりあるまちへの転換・生活環境の向上等により、市の魅力を高め、「住みたい」「住み続けたい」と思えるまちを実現し、若い世代・子育て世帯の移住・定住を促進する必要があります。

③人口減少社会に的確に対応し、住んで、みんなが幸せを実感できるまちをめざします。

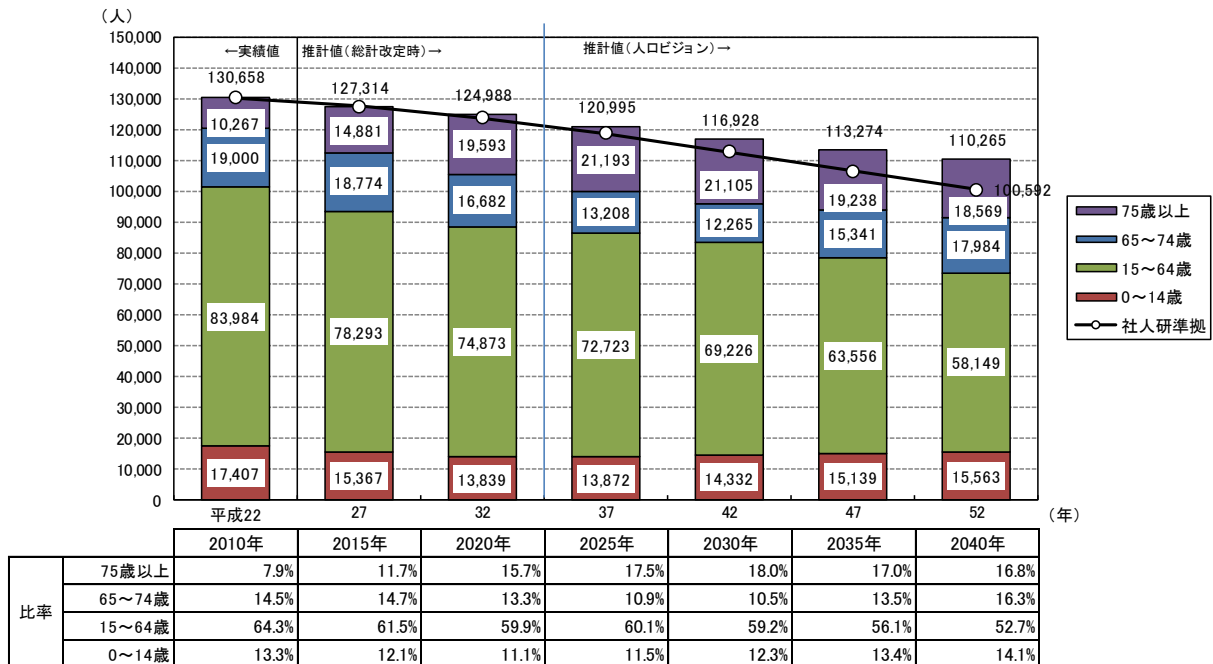
人口減少を「過密からゆとりへの絶好のチャンス」と捉え、人口減少社会であっても、安全・安心で快適に暮らすことができるまち、そして、みんなが幸せを実感でき、「住んで、育てて良かった」と愛着を持てるまちを実現し、人口の流出を防ぐとともに、子や孫など次の世代の定住へつなげることが必要です。

9. 目標とする人口

平成32(2020)年 約125,000人
 平成52(2040)年 約110,000人

- 推計の基礎となる人口：
 「門真市第5次総合計画(改定版)」において平成32(2020)年における推計人口及び目標人口を125,000人と設定しており、この数値を今後の門真市の市政運営を行うための基礎とします。
- 自然減の緩和：
 若い世代が希望通り出産・子育てをできることなどにより、合計特殊出生率が上昇することを見込み、国の長期ビジョンに準拠した設定(平成32(2020)年に1.60、平成42(2030)年に1.80、平成52(2040)年に2.07)とします。
- 社会減の緩和：
 政策誘導により転出超過状態の抑制を図りながら、平成52(2040)年までに移動が均衡することをめざします。

図表11 社人研準拠による将来人口と将来展望人口



注) 平成22(2010)年の人口は10月1日現在の住民基本台帳人口

注) 端数処理の都合上、比率の合計が100.0%とまらない系列が存在する。



門真市人口ビジョン（概要版）
平成 27 年 10 月
発行／門真市
〒581-8585 大阪府門真市中町 1 番 1 号
電話：06-6902-1231
編集／門真市総合政策部 企画課

